

第1号様式

個別支援申請書（記入例）

令和●年●月●日

公益財団法人にいがた産業創造機構 理事長 様

技術提案力向上支援事業による個別支援を以下のとおり申請いたします。

企業名	株式会社 NICO		
所在地	(〒950-0078) 新潟市中央区万代島 5-1 万代島ビル 9階		
代表者名	代表取締役 万代 花子		
担当者名	営業部 部長 万代 太郎		
連絡先	TEL : (025) 246-0052		FAX : (025) 246-0030
	e-mail : niconico@nico.or.jp		
業種	製造業	創業年月	昭和 25 年
資本金	2,500 万円	従業員数	25 名 (内正社員 23 名)
業務内容	金属製品の機械加工		
主要取扱品・サービス	自動車関連部品(50%)	主要取引先	古町工業㈱(20%)
	建設機械部品(30%)		㈱柳都部品(15%)
	その他(20%)		その他約 20 社(65%)
	(%)		(%)
年間売上高	25,250 千円 (令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月)		
現状分析 (自社技術の強み、営業戦略、外的要因)			
<p>【自社技術の強みや特徴】</p> <ul style="list-style-type: none">・どんな技術を持っているか。・その技術の強み (他社との優位性) は何か・その強みの背景 (経営資源) は何か・その技術を使ってどんなものを製造しているか <p>【現在の取引市場におけるニーズ及び営業戦略】</p> <ul style="list-style-type: none">・その技術、製品がなぜお客様に選ばれるのか・どのような仮説のもとで、どのような営業をおこなっているか・課題があるとすれば、どのようなものか <p>【現在の取引市場における脅威・競合】</p> <ul style="list-style-type: none">・自社の強みを打ち消してしまうような大きな環境変化 (市場動向、技術革新、法律規制など、顕在的なものから潜在的なものまで)・自社の製品やサービスと競合する製品やサービスを扱う他社の動向			

第1号様式

技術提案力向上における成果目標（今考えられる範囲で記載してください）
<p>【自社技術をどのような分野（業界・市場等）に提案していきたいか】</p> <ul style="list-style-type: none">・上記の脅威、競合に紐づき、どのような戦略を考えているか・具体案がない場合には、どのような方向性で検討したいか・課題があるとすれば、どのようなものか <p>【提案したい分野で想定されるニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none">・〇〇分野においては△△のようなニーズが想定されるため、当社の□□の強みを生かした提案を強化したい。・課題があるとすれば、どのようなものか <p>【目標（技術提案力を向上させてどのような成果を目指すか）】</p> <ul style="list-style-type: none">・本事業を活用してどのような課題解決を目指すのか・その結果どのような企業を目指すのか・そのための数値目標（売上向上、利益率向上、取引先、取引分野依存割合の低減など）・数値目標を達成するための具体的な行動計画
取り組みにあたっての実施体制
<p>【実施体制のイメージ図】</p> <pre>graph TD; A["代表取締役 万代 花子 プロジェクトリーダー"] --- B["営業部 部長 万代 太郎 営業戦略の策定"]; A --- C["技術部 課長 新潟 次郎 技術要素の検討"]; A --- D["広報部 主任 古町 良子 広報戦略の策定"]</pre>

※直近2か年分の決算報告書（貸借対照表、損益計算書、販売費及び一般管理費、製造原価報告書、株主資本等変動計算書、個別注記表）、会社案内（パンフレット等）を添付して下さい。